

平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢まつり「いきいきフェスタ」 ●ビーチクリーンタイム 	<p>約 100 名</p> <p>約 78 日間</p>	<p>ブース展示を行い、ライフセービング普及展示と、海ゴミの啓発展示を行った。（地域とのかかわりを参照）</p> <p>4・5月週末と海水浴場期間の14時に遊泳客を誘導したビーチクリーンタイムを実施。海の公園開設以来継続実施。（26年度参照）</p>
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニアライフセービング教室 ●プレミアム体験ツアー（シーサイドライン協力） ●金沢まつり「いきいきフェスタ」 ●ビーチクリーンタイム 	<p>30 名</p> <p>9 名</p> <p>約 100 名</p> <p>81 日間</p>	<p>ライフセービングスキルをベースに、水辺の安全・セルフディフェンス、ビーチクリーンを通じた環境教育などを学ぶ。</p> <p>沿線体験ツアー「ライフセーバー体験」で監視活動とビーチクリーン啓発活動を模擬体験。単発開催。</p> <p>ブース展示を行い、ライフセービング普及展示と、海ゴミの啓発展示を行った。（地域とのかかわりを参照）</p> <p>4・5月週末と海水浴場期間の14時に遊泳客を誘導したビーチクリーンタイムを実施。海の公園開設以来継続実施。（26年度参照）</p>

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニアマリンレスキュー隊 ●金沢まつり「いきいきフェスタ」 	<p>金沢南部のスポーツ推進委員が中心となって開催される子供向けの行事。着衣泳などのセルフディフェンスのレクチャーと、海との関わり方や海ゴミの話についての学習。8年前より継続実施。</p> <p>いきいきフェスタで、横浜市緑の協会と共同ブースでライフセービング活動紹介の展示による水辺の安全普及と共に、漂着す海ゴミの啓発展示や、金沢の海で採取された海の生き物のタッチングプール運営を、15年前より毎年行っている。</p>
学校との関わり	●横浜市立大学エクステンション講座	<p>海の公園に生息する海洋生物を中心に海の浄化機能について講座を担当。アサリを使った海水浄化実験や、死んだ生き物を食べて分解する貝類の観察。またチリメンモンスター実施によりプランクトンに注目させ、食物連鎖から海ゴミによる生物への影響を伝え、海洋保全についても学習した。単発開催。</p>

	●西柴小学校「西柴海の冒険王」	4年生を対象に社会科・理科学習の延長で、生徒自ら手作り筏を作って、地元の海を漕いでみようという行事。当日の海上安全管理と共に、海との関わり方や海ゴミについて水の循環をベースに事前学習を担当。(添付資料参照) 平成 28 年度単発開催。
他の市民団体との関わり	●海辺の環境教育フォーラム ●ヨコハマ海洋市民大学	海の公園での取り組みや、ビーチクリーン活動などの発表・紹介も兼ねて、2004 年より継続参加している。 大さん橋(旧鉄棧橋)竣工 120 周年を機に始まった手作りの市民大学で、2014 年に設立メンバーとして座間が参画。海の公園における海洋環境の講座担当。現在は金沢区での活動に専念。
企業等との関わり	●ゴールドウィン	ライセンスブランドである「ellesse」からビーチクリーン用のビニール袋の提供を受け、ビーチクリーン活動で無料配布をしていた。現在は市販の袋を配布。
行政との関わり	●海の公園アマモ分布調査	市温暖化対策統括本部への協力で、アマモが繁茂している際を、SUP に乗って海上を移動し GPS を使ったアマモ繁茂状況を計測。今年で3年目。同時にアマモの利用と整備、未利用海藻・アオサの利活用を摸索。
その他、環境以外の分野との関わり	●福祉 ●スポーツ	海の公園に配備されている水陸両用車いす(ランディーズ)の介助活動。 横浜市体育協会主催のオーシャンスイムレッスンや、各種マリンスポーツイベントなど海の公園や八景島での安全管理を創設当初から受託し活動。

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※ 立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※ 個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

横浜市唯一の海水浴場としてオープンした海の公園の監視所を母体として、年間を通じて海の公園でのマリンスポーツやレクリエーションの安全対策に対応する為の任意団体として1988年に創設し、今年で30年目。来年30周年という節目を迎えます。会員は学生時代に監視所監視員を経験した者だけで構成し、毎年10人前後の入会があります。日本ライフセービング協会の正会員として神奈川県支部を通じて登録し、海の公園をホームグレンデとして活動しています。アサリやアオサの漂着、最近ではアマモの異常繁茂等の環境問題にも対応し、調査協力や海浜における環境教育にも積極的に参画しています。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

※自己評価や活動を引き継いだメンバーが改善したこと等を具体的に記入してください。

私たちが活動する海浜において少しでも水辺の事故が減るように水辺の安全普及を第一の目的とし、有事の際には迅速な救助活動が行えるよう、1年を通じて活動しています。

また横浜市唯一の海水浴場である「海の公園」が市民にとって永続的に利用可能な綺麗な海浜となるよう、利用者や近隣住民を巻き込んでビーチクリーンを通じた環境保全活動を行っています。その結果、ビーチクリーンタイムでは多くの率先して海ゴミを拾い、監視所に届けてくれるようになりました。

クラブ員である監視員も海水浴期間中は毎日監視時間前後にビーチクリーンを行い、金沢まつり花火大会の翌日は率先して環境整備を行っています。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（1ページ「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

様々なイベントの中で、海ゴミを拾わなくてよい海浜を目指して、環境を意識した日常生活での実践法を伝達したり、アサリ等の海洋生物の観察から浄化実験やチリメンモンスターを通じて、生物多様性についても理解を深めてもらっています。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

クラブ創設から30年間一貫して行ってきた、横浜市唯一の海水浴場「海の公園」での水難事故撲滅を目指して更なる高度監視体制を確立し、教室やイベント・展示を通じて安全普及を促進させます。

また現在、港湾空港技術研究所が金沢湾で行っている炭素調査結果と、温暖化対策統括本部が行っているアマモ場面積調査の結果をもとに、海の公園周辺のワカメやコンブ、アマモやアオサ等の海藻・海草が、市が行っているブルーカーボンに貢献していることを題材に、地域や近隣学校と連携したイベント等を通じて環境教育を行っていきたいと考えています。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

あまり表に出ないビーチクリーン活動ですが、実は海浜利用者や近隣住民が気軽に参加できる環境行動であると思っています。「人間活動の結果」として全てが流れ着く「海」に足を運び、海ゴミを拾うことで海の現状を知り、マイクロプラスチック等の環境問題についての学習が、日常生活での環境行動の変容に繋がると信じています。我々が主活動として行っているライフセービングも、最終目標はライフセーバーが居なくても安全が確保される水辺の創造です。そのために市民が気軽に水辺へ通ってもらえる環境作りが必要不可欠になります。安全で快適な海浜を目指して、30年の実績を生かして、海浜での環境活動も並行して継続していきます。

JUNIOR LIFESAVER

今年で16年目を迎えた横浜海の公園ライフセービングクラブ主催

『ジュニアライフセービング教室』を今年も開催いたします。

海に親しみながら海辺の安全について学べる数少ない機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：横浜海の公園ライフセービングクラブ

共 催：(公財)横浜市緑の協会

日 時：①平成29年7月29日(土) 9:00~12:00

エレメンタリーコース

(初めて参加される方・小学生の方が対象)

開催場所：横浜海の公園 砂浜中央監視所本部横

内 容：セルフレスキュー・ボードパドルング・ビーチフラッグス・環境教育・心肺蘇生法等
(※天候等により一部内容を変更することもあります。)

定 員：①エレメンタリーコース 30名(先着順)

※受付期間 7月8日(土)14時から7月18日(火)17時まで

参加条件：元気な小学生(医師に水泳や運動を止められていないお子様)

(小学2年生以下のお子様は保護者の方も一緒に受講いただくことがあります)

参加費：500円(保険代等)



お申込・お問い合わせ先

メール yulcjunior@gmail.com

担当 ジュニアセクション

以下のフォームでお申し込み下さい。

<http://my.formman.com/t/wzbh/>

携帯電話からアクセス出来なかった際は、パソコンからアクセスいただきますようお願い申し上げます。

お申し込みいただいた方には、後日ご連絡いたします。

お申し込みの際に頂いた個人情報は、ジュニア教室運営の目的以外には使用致しません。



プレミアム探検 ツアー!

Vol. **15**

2016年8月10日(水)

雨天決行

ここが**プレミアム**

プレミアムなプレゼントをご用意しています!



ライフセーバーが使う!! レスキューチューブのキーホルダー & 海の公園アマモ場いきもの図鑑かるた

柴口このみのおいしい水 & ノベルティ

プレミアム探検先

海の公園(金沢臨海サービス
横浜海の公園ライフセービングクラブ)



海の公園柴口駅から徒歩



人命に尽くす海の救助員! ライフセーバーを体験!

横浜シーサイドライン



並木中央駅から徒歩3分

乗務員扉から乗車や洗浄体験、車両説明を体験!

参加資格 親子(小学生以上・大人同伴)

詳細はこちら

参加料 大人:1,500円 小児:1,000円(税込)
※1日乗車券、お弁当代、保険代、お土産代含む

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.seasideline.co.jp>

応募方法 当社ホームページの応募フォームより応募
※先着順。定員になり次第受付終了

先着順!

シーサイドライン



応募期間 2016年7月19日(水)9:00 ~ 8月5日(金)17:00

Go Forward!
Seaside Line

主催:株式会社横浜シーサイドライン

☎ 045-787-7004 (平日9:00~17:20)

シーサイドライン



共催:(公財)横浜市緑の協会 協力:(財)金沢臨海サービス、横浜海の公園ライフセービングクラブ

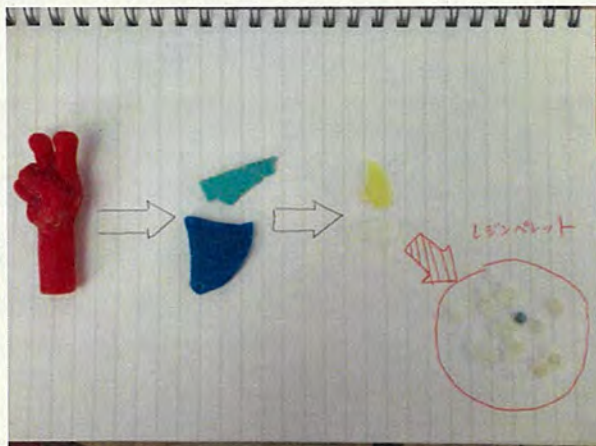
※写真・イラストは一部イメージです
※都合によりイベントの内容が変更になる場合があります



横浜環境活動賞応募募補足画像



ジュニアライフセービング教室でのビーチクリーン



いきいきフェスタでの展示一部



14時のビーチクリーンタイムではライフセーバーも一緒にゴミを拾います



注射針が大量に流れつくこともある。



金沢まつり花火大会翌日のビーチクリーン(シートの重しの残骸)



ジュニアマリンレスキュー隊でのレクチャーで海ゴミの講座



横浜シーサイドライン主催「プレミアム体験ツアー」で、ライフセーバー体験のビーチパトロールで海水浴客にゴミ袋を配る子供達



プレミアム探検 ツアー! Vol. 15
 2016年8月10日(水) 雨天決行

ここがプレミアム プレミアムなプレゼントをご用意しています!



ライフセーバーが使う! レスキューチューブのキーホルダー & 海の公園アマモ増いさぎの図鑑かるた

柴口このみのおいしい水&ノベルティ

プレミアム探検先

海の公園(金沢臨海サービス 横浜海の公園ライフセービングクラブ)



海の公園奥口駅からすぐ

人命に尽くす海の救助員! ライフセーバーとは?

横浜シーサイドライン



並木中央駅から徒歩3分

乗務員票から乗車・洗浄体験・車両説明

参加資格 親子(小学生以上・大人同伴)

詳細はこちら

参加料 大人:1500円 小児:1000円(税込)
※1日乗車券、お弁当代、保険代、お土産代含む

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.seaside-line.co.jp>

応募方法 当社ホームページの応募フォームより応募
先着順、定員になり次第受付終了
20組40名(1組2名)

シーサイドライン

応募期間 2016年7月19日(水)9:00~8月5日(金)17:00



市大エクステンション講座「海の浄化実験室」で海の浄化や海ゴミのことを学習し、実際にチリモン探しをしている子供達。

AM3:00

監視所本部よりお知らせ致します。

只今の時刻は3:00です。当公園では毎日この時間に15分間の海のクリーンタイムを実施しております。お客様によるゴミ拾いのご協力をお願い致します。

ゴミ袋は砂浜中央の監視所本部に用意しておりますので、ご利用ください。

海を私たちの手できれいにしましょう。

以上、監視所本部からでした。

AM4:50

監視所本部よりお知らせいたします。

只今の時刻は4:50です。5:00になりますと当海水浴場は監視体制が解除されますので、以後お遊びの方は十分御注意ください。

本日は海の公園海水浴場をご利用いただきましてありがとうございました。

以上監視所本部からでした

AM5:00

監視所本部よりお知らせいたします。

只今5:00になりました。只今をもちまして、海の公園監視所の監視業務を終了いたします。以後、お遊びの方は十分御注意ください。

本日も海の公園監視所にご協力いただきましてありがとうございました。以上監視所本部からでした。

海の公園での監視所「ビーチクリーンタイム」放送文

エクステンション講座



海の浄化実験室

～海のおそうじ屋さんをさがせ!～



人間が出す家庭の台所から出した生活雑排水などは、適切な処理をされないと、そのまま海に流れます。海は文句を言わず全てを受け入れてくれますが、何もしなければ海は汚くなり、生き物が住めなくなります。それをせつせと浄化して、海をきれいにしてあげている多種多様な海の生き物がいます。本講座では海の公園に生息する海洋生物を中心に、海の浄化機能について、簡単な実験や体験を通して学びます。「きれいな海」って? 「豊かな海」って? この夏最後の思い出に、一緒に考えてみましょう。

日時：平成27年8月29日(土) 10:00～12:00

講師：座間 吉成 (株式会社金沢臨海サービス 事業開発プロデューサー)

<企画監修> 塩田 肇(横浜市立大学 国際総合科学群 准教授)

受講対象者 / 小学生(保護者同伴のこと)

※ 受講生以外のお子様のお入場不可。託児はありません。対象学年は4月現在の学年とします。

受講料 / 無料

定員 / 15組

申込 / ホームページ・電話・FAX・Eメールのいずれかにてお申込みください。

会場受付 / 当日は9時30分から受付を開始いたします。

会場 / 海の公園
(〒236-0013 横浜市金沢区海の公園10番)

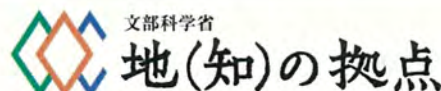
<アクセス> JR 根岸線「新杉田駅」または京浜急行線「金沢八景駅」から、金沢シーサイドラインに乗り換え、「海の公園南口駅」「海の公園柴口駅」「八景島駅」で下車、徒歩2分

主催 / 横浜市立大学地域貢献センター

後援 / 横浜市政策局



私たちは、YES
(ヨコハマ・エコ・
スクール) の協働パートナー
として活動しています。



この講座は、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」に採択された横浜市立大学の「環境未来都市構想推進」を目的とした地域人材開発・拠点づくり事業として開催する YES 講座です。

西柴小学校イカダイベント

①海の公園について

横浜市海岸線 140 km、人が近寄れる海岸線 14 km、砂浜 1.4 km。

市民一人当たり 4 cm の海岸線、4 mm の砂浜しかない。

殆どが埋め立てられて出来ている。海の公園の前の道路が海岸線だった。

日本の人工海浜ではもっとも成功した事例と言われるほど、豊かな自然が回復している。

アオサの話。 アマモの話。 ゴミの話。 ペットボトルの話

②遭遇時危険生物（人が近づくと危害を及ぼすかもしれない生物）

海には出会ってしまうと思わぬケガをしてしまう生き物がいる→危険生物→遭遇時危険生物

海に入らせて貰っている（お邪魔します）という気持ちが大切。

畏敬の念。自然に対して…自然の力ってすごいなあ。人間は及ばないなあ。という気持ち。

③UITEMATE について（着衣泳）

「助けてサイン」はフロートを持ったときのみ。あとは【浮いてまで！】

浮いて待つ姿勢について解説。

素手で助けに行ってはいけない。子供でも首にしがみ付かれたら大人でも大変。

着衣での遊泳× 衣服は脱がない（保温・浮力） 靴は脱がない

溺者を見つけたら浮かばせる・浮くものを投げる→直ぐに 119 番・近くの大人に知らせる

④ライフジャケットの着用方法について

水辺ではライフジャケット（PFD—Personal Floating Device）は必須になる

ライフジャケットの種類。形式承認の説明。

調節ベルトを締めて体に合わせる。股紐を必ずつける。

⑤落水時の浮き方について

落ち着く。騒がない。ゆっくり呼吸。

無理に起き上がろうとしない。→仰向け浮きが出来ることが望ましい。

不用意に足を付けない。バタバタさせない。

⑥緊急時の合図の方法について

浮いて待て！ライフジャケットを付けているので声を出していい。（助けて！）

周りの人に掴まらない。→相手もビックリ！溺れる可能性も。

先生の指示に従う。

⑦前日までの過ごし方について（睡眠・朝食・体調管理）

寝不足は溺れる原因。朝食べないと力が出ない。頭が冴えない。風邪などひかない様に。

トイレ（うんち）は必ず済ませる。



座間さん ありがとうございます

~そして、海が好きになりました~



西柴海の冒険王

西柴小学校一同

第 25 回横浜環境活動賞 推薦用紙

被推薦者	横浜海の公園ライフセービングクラブ 代表 小関大輔
推薦者	横浜市温暖化対策統括本部

推薦理由

横浜海の公園ライフセービングクラブは、30年に及ぶ海の公園の監視所活動を通して、海浜清掃、環境教育を地道に実施している。特に、若年層（小学生以下）に対しては、温暖化や海洋環境の問題について実施イベントに際し、積極的に訴求している。温暖化対策統括本部との関係では、アマモ繁茂状況計測の協力、横浜市体育協会、横浜市立大学、漁協との連携、当本部や他局との連携など、横浜市との関係強化にも積極的努めており、環境等に直結しない団体の活動であるが、温暖化、環境など、普及啓発活動に結び付けている姿勢を評価し推薦します。